



日本と サラワク州との関係

国際環境NGO FoE Japan
(Friends of the Earth Japan)

三柴 淳一



日本とサラワク州との関係(1)

- ◆ 日本はサラワク産木材の最大の顧客
- ◆ サラワク産合板の約50%が日本へ

	第1位	第2位	第3位
取引金額(RM)	日本 (32.53%)	インド (16.11%)	台湾 (10.44%)
丸太	インド (60%)	中国 (13%)	日本 (9%)
製材	タイ (27%)	台湾 (11%)	フィリピン (8%)
合板	日本 (48%)	韓国 (15%)	中東 (11%)
繊維板(MDF)	日本 (75%)	インドネシア (9%)	半島マレーシア (5%)

出所: STIDC(2011)

日本とサラワク州との関係(2)

- ◆ 輸入合板の多くは熱帯材。43%がマレーシア(主にサラワク材)
- ◆ サラワク材の多くはコンクリート型枠とフローリングの基材に

単位: m3

国名等	普通合板計	3mm未だ溝	3~6mm	6~12mm	12~24mm	24mm超	特殊	集成材、BB等
マレーシア	1,557,733	32,479	89,602	1,022,821	82,870	8,376	263,786	57,799
インドネシア	1,128,432	162,761	147,576	580,751	30,261	3,478	112,112	91,493
中国	880,239	1,810	26,677	268,160	53,610	20,308	11,572	498,102
生産量								
国産合板(針葉樹)	2,198,000	0	21,000	232,000	1,945,000	-	-	-
国産合板(針葉樹以外)	288,000	26,000	69,000	56,000	137,000	-	-	-

出所: *貿易統計, **木材需給報告書(2011)

州主席大臣関係者へのリベート問題

- ◆ 南洋材輸送協定(NFA)加盟会社が仲介業者に手数料を支払っていた
 - 仲介業者は州主席大臣の弟の企業
 - 同業者から州主席大臣の妻、娘等への金銭の流れの事実が発覚
- ◆ 国税庁の摘発にNFA企業は不服申し立て。結果、企業は無罪
 - 国税不服審判所は仲介手数料が州主席大臣の弟に渡っていた確たる証拠がないことを理由にNFA加盟会社に対する処分を取り消し
- ◆ その後、同業者から州主席大臣の妻、娘等への金銭の流れの事実が発覚
 - 2007年当時から、形を変えて依然として続いている可能性も?

まとめ

- ◆ 汚職、腐敗
 - 無配慮なビジネス継続は“共犯者”ではない
- ◆ 熱帯林破壊、著しい喪失
 - 生命の源・種の宝庫、豊かな生物多様性…。人類の宝では？
 - ダム、LPF(263万ha)、アブラヤシ農園など終わり無き森林開発
- ◆ 人権侵害、人々の生活・生命そのものの危機
 - もはや“紛争木材&パーム”

違法／合法といった狭義の話ではなくて
著しく高い“リスク”の問題

提言

- ◆ 「不買」：代替材への転換
 - 国内生産の合板(全量国産針葉樹、または国産針葉樹と輸入材のmix)に代替
- ◆ 「厳選」：非持続可能な南洋材合板からの脱却
 - 信頼性の高い森林認証材など、持続可能性が担保された製品以外は直ちに使用停止
 - ダム開発、農園開発、造林地など大規模皆伐に由来する木材、原料も直ちに停止
- ◆ 「限定」：(移行期は)代替の利かない箇所のみ使用
 - メランティ/ラワンが不可欠な合板の表(裏)のみ使用
 - 全体的な使用量の削減

それでもサラワクの
政府と企業を信じられますか？

まだ汚職と環境・社会の
破壊に手を貸しますか？

